

朝鮮民主主義人民共和国
国防委員会第一委員長 金正恩 様

朝鮮民主主義人民共和国の核実験に対する抗議文

朝鮮民主主義人民共和国は、1月6日に、4度目となる核実験を実施したと発表した。

核実験を繰り返したことは、いかなる理由に基づこうとも正当化する余地はなく、その無謀な暴挙を絶対に容認することはできない。

世界で唯一の被爆国であり、核兵器の廃絶を基本とした世界の恒久平和の実現を願っている我が国の思いをまったく無視した行為である。

また、日朝平壤宣言では、国際法を遵守し、互いの安全を脅かす行動をとらないこと、及び北東アジア地域の平和と安定を維持、強化するため、互いに協力していくことを確認しており、今回の行為は、明らかにこれを踏みにじるものである。

さらには、今回の行為は、国連安全保障理事会のこれまでの決議を無視するものであり、世界の平和と安全を脅かすものである。

小平市は、平成17年に、すべての国の核兵器の廃絶を求め、市民とともに、世界の恒久平和を願い、平和なまちづくりを進める決意のもとに、「非核平和都市」であることを宣言した。

被爆国である日本の地方公共団体として「非核平和都市宣言」を行い、核兵器廃絶と世界平和の実現を訴えている小平市としては、今回の朝鮮民主主義人民共和国の行為に対し、強い憤りの念を禁じえない。

私は、小平市民を代表して、今回の核実験に対し、厳重に抗議するとともに、すべての核兵器と核計画を即刻放棄するよう強く求める。

平成28年1月6日

東京都 小平市長 小林 正 則